

令和 3 年度 愛知県義務教育問題研究協議会 協議題

「ICT機器を活用した教育活動の在り方」

1 国・県の指針

(1) 令和 3 年 1 月 26 日 中央教育審議会答申

① 「令和の日本型学校教育」における「子供の学び」

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげ、子供の資質・能力の育成を図る。

② 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた ICT の活用に関する基本的な考え方
ICT を主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、今までできなかった学習活動の実施や家庭など学校外での学びを充実する。

(端末の日常的な使用・ICT は文房具)

(2) 令和 3 年 2 月 あいちの教育ビジョン 2025 - 第四次愛知県教育振興基本計画 -

① ICT 活用教育の推進

ICT を活用した個別最適な学びと社会とつながる協働的な学びの実現
子供の学びや教職員を支える ICT 教育環境の充実

2 令和 2 年度愛知県義務教育問題研究協議会より

(1) 協議内容

「ICT機器を活用した教育活動の在り方」の協議題のもと、愛知県の ICT 教育に望むことについて協議された。

(2) 成果

- ・ ICT 機器を活用した教育活動の指針となる「ICT機器を活用した教育活動の在り方」リーフレットの作成
- ・ 「授業における ICT 機器の効果的な活用」事例集の作成

(3) 令和 3 年度に向けて

- ・ 目的や方針を明確にして ICT を導入していくことが重要である。
- ・ 先進的な事例は参考になる。
- ・ 端末を家に持ち帰るまでには、目に見えない壁があり、できないことがたくさんある。

3 令和 3 年度愛知県義務教育問題研究協議会について

(1) 協議内容

『積極的に ICT 機器を活用するために～1 人 1 台端末の有効的な使い方に焦点を当てて～』

昨年度の協議会では、「子供の情報活用能力を育てよう」「積極的にICT機器を活用しよう」「ICT環境を整えよう」「ICT活用指導力を高めよう」という四つの視点で、「ICT機器を活用した教育活動の在り方」について研究を進めた。主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「ICT機器を活用した教育活動の在り方」リーフレットや、「授業におけるICT機器の効果的な活用」事例集を作成し、学校現場への指針とした。

今年度は、1人1台端末が整備された中でのスタートであるため、昨年度の四つの視点の中で、「積極的にICT機器を活用しよう」に焦点を当て、積極的にICT機器を活用するためにどうしたらよいか、また、どんなことを大切にしなければならぬかについて考えていきたい。特に、授業において、1人1台端末を特別なものでなく当たり前存在として日常的に使えるようになることが大切になってくるので、1人1台端末の有効的な使い方に焦点を当てた協議をしていきたい。

(2) 報告内容 (案)

○リーフレット・事例集の更新

- ・専門部会での調査研究
- ・先進校の事例
- ・一斉学習における事例、個別学習における事例、協働学習における事例
〔日常的な教育活動の場面での事例〕
〔1人1台端末を使い始めての実際の状況を踏まえ〕
- ・学年末までに本課Webページで公開する